

寺井紗知子 議員

小中学校の整備計画は

問 校舎の耐震化は進められたが、建物は老朽化している。これら施設の改修等の計画はどのようなになっているか。

答 計画的な大規模修繕により教育環境の充実を図る考えである。現在、「袋井市教育施設整備10箇年計画」の見直しを行っており、整備方針を定めた上で、計画的な整備を進めていきたい。

液状化対策の取り組みは

問 液状化危険度は市内全域で62.6%とされている。専門的な見地から事前予測の研究が必要であることから、液状化軽減研究会設置はどうか。

答 液状化がもたらす本市の被害は、歴史的背景をもとに、専門家を入れた議論を行う必要があると考える。実現に向けて検討していきたい。



環境照明灯 (周南中学校プール南側に設置されている物と同型)

環境照明灯の導入は

問 地震による夜の停電時の安全確保、避難地への誘導などにソーラーパネルを使ったLED照明を避難所へ設置したらどうか。

答 市指定避難所となる施設には、災害時における停電対策のため、発電機とともに非常照明灯などの整備を進めている。今後、環境照明灯についても導入していきたい。

高木 清隆 議員

障害者の自立支援に向けた取り組みは

問 障害者の就労には、雇用施策と福祉施策が連携して取り組む必要があるがどうか。

答 障害者が地域で自立した生活を送り、生きがいを持つて生活するために、就労は大切なことであるため、中東遠地区就業促進協議会と連携し、一般就労の促進に取り組んでいきたい。

子どもの放課後支援への取り組みは

問 今後の放課後児童クラブに求められるものは何か。

答 今後は、スポーツ・文化活動を通じて、より一層の社会性や豊かな人間性も育まれるよう、質を高めていくことが必要であると考えます。

非正規職員の雇用は

重要な経営課題

問 市職員の雇用比率について伺う。

答 本年4月1日現在、市長部局は、正規351人、非常勤嘱託81人、臨時的任用46人。病院は、正規337人、非常勤嘱託75人、臨時的任用2人。教育委員会は、正規185人、非常勤嘱託106人、臨時的任用30人で、円滑な行政運営に取り組んでいる。



ワークラックによる職業準備訓練